



Botswana Medical Information



2020年1月

【2020年1月報道記事抜粋】

●ナミランドでの狂犬病流行

ナミランドの住民は、同地区の狂犬病の流行に気をつけるよう警告された。

同地区の獣医師によると、13件（9匹の野犬と4匹の羊）の動物狂犬病が報告された。

感染した動物に触れないことと、それらの肉を食べないことが推奨されている。

子犬は生後3か月時にワクチンを接種するように注意喚起された。同地区では、ワクチンキャンペーンにより、400匹の犬にワクチンが接種された。（21日デイリーニュース）

●狂犬病による死亡者の報告

ナミランド地区のヘルスマネージメントチームは、犬咬傷による狂犬病疑いによる死亡例2件を確認した。患者は子供と高齢者であり、それぞれナミランド地区とオカバンゴ地区から報告された。また、1月以来、14人が狂犬病の動物との接触があった。ナミランド地区では動物の狂犬病のアウトブレイクが報告がされている。

市民は、野犬と接触をしないように注意し、噛まれたり、ひっかかれたりした場合は、直ちに傷を水と石けんで15分以上かけて流水にて洗い、傷を覆わず、近隣の医療機関を受診し、狂犬病ワクチンの接種をするよう、警告を受けている。（28日デイリーニュース）